

# 一 般 質 問 通 告 事 項

(令和2年第7回白岡市議会定例会)

## 第1通告者

17番 石原富子 議員

### 1 新市長に聞く

新しい市長が誕生し、新体制がスタートする。

- (1) 現在の決意と今後の市政運営の考え方について伺う。
- (2) 市の現状分析と個別課題について伺う。
- (3) 問題解決のための方策について伺う。

### 2 介護保険料の未納について

介護保険料の未納者が増加傾向とのこと。

- (1) 白岡市の納付状況はどうか。
- (2) 対策はどうしているか伺う。
- (3) 低所得者への対応について伺う。

### 3 GIGAスクールに向けて

- (1) 白岡市子どものネット利用宣言のその後の活用状況は。
- (2) 情報モラル教育はどのように行っていくか伺う。
- (3) 目に及ぼす影響について、どのように配慮するか伺う。

## 第2通告者

12番 中川幸廣 議員

### 1 児童手当の特例給付の給付中止について

現在、児童手当は、15歳までの子どもを養育している保護者に対し、給付されている。しかし、政府は、収入により一般給付での受給できない特例給付5,000円を廃止する方針が先頃発表されている。そのようなことが実施されれば、保護者の方々は、このコロナ禍での経済状況では大変な家計への圧迫である。

そこで、以下の点について伺う。

- (1) この児童手当の政府の発表の内容について
- (2) 市内でこの特例給付の対象となる件数は。
- (3) 市独自にこの内容に対しての対応措置は考えているか。

## 2 都市計画道路白岡駅西口線の工事状況について

都市計画道路白岡駅西口線の工事が進んでいるが、今後の延伸工事計画について伺う。

- (1) 八幡神社までの工事及び完成後の通行はどのようになるのか。
- (2) その後のさいたま栗橋線までの工事の計画は、どのように進捗するのか。
- (3) 白岡駅を中心に白岡宮代線と白岡駅西口線が将来完成するが、白岡駅でそれぞれストップする。その両幹線道路をつなぐ地下道建設を市が行う考えはないか。

## 第3通告者

15番 遠藤 誠 議員

### 1 不耕作農地の防火防犯対策について

- (1) 篠津北東部地区の状況は、危険なのではないか。調査はしているのか。対策は講じないのか。埼玉東部消防組合に調査を依頼しては。
- (2) 地権者の中には市内在住でない方も少なくない。この状態は地権者も、市も無責任ではないか。
- (3) 空き地の環境保全に関する条例で対策を講じる考えはないか。

### 2 医療職員のいない市役所の対応について

- (1) 医師資格のある職員のいない市であることを市役所ももう一度考える必要があるのではないか。
- (2) 「かかりつけ医」と「医師会」についてあり方を検討すべきではないか。
- (3) クラスタ発生時の対応について

### 3 小規模保育所の運営支援について

- (1) 来年度の小規模保育の0、1、2歳児の充足率は。うち公立は。
- (2) 国からこの対策はないのか。
- (3) 小規模保育所の運営安定対策はあるのか。
- (4) 新設の保育所の0歳児枠を先日の児童福祉審議会で事業計画と異なる数値を承認したが、どの施設でも簡単に弾力範囲ならできるのか。

#### 4 学校保健特別対策事業費補助金について

- (1) 市の申請額と交付額はいくらか。
- (2) なぜこの額になったのか。
- (3) 補助メニューは十分検討したのか。

#### 第4通告者

2番 中村匡志 議員

##### 1 新市長の公約①「A I を活用した農業」について

- (1) 「A I を活用した農業」として具体的には何を想定しているのか。
- (2) 実現に向けてのロードマップを示されたい。
- (3) 必要となる予算規模はどの程度か。

##### 2 新市長の公約②「事業仕分けによる優先順位」について

- (1) 「事業仕分け」はどのような手続により行うのか。行政評価委員会は活用するのか。また、「事業仕分け」の時期は。
- (2) 「白岡駅西口線の早期完成」、「新白岡駅周辺地域の整備促進」、「白岡宮代線の延伸」の3事業が列挙されているのはどのような趣旨か。「事業仕分け」とは別に、これらの事業を市長肝煎りの最優先事業として進める趣旨か。

##### 3 新市長の公約③「新白岡の葬儀場建設中止」について

- (1) 「葬儀場建設中止」実現に向けての具体的なロードマップを示されたい。
- (2) 「訴訟覚悟」とあるが、損害賠償額はいくらを想定しているのか。また、勝敗の見通しは。

##### 4 新市長の公約④「待機児童の解消」について

- (1) 「待機児童ゼロ」の実現ということで間違いはないか。
- (2) 実現に向けてのロードマップを示されたい。
- (3) 必要となる予算規模はどの程度か。

##### 5 新市長の公約⑤「のりあい交通の大幅見直し」について

- (1) どのように見直すのか。
- (2) 実現に向けてのロードマップを示されたい。
- (3) 必要となる予算規模はどの程度か。

6 新市長の公約⑥「豪雨対策」について

- (1) 「河川整備」の内容と実現に向けてのロードマップを必要となる予算規模とともに示されたい。
- (2) 「防災計画の見直し」の内容と実現に向けてのロードマップを示されたい。

7 新市長の公約⑦「自然エネルギーの導入」について

- (1) 「自然エネルギー」として具体的には何を想定しているのか。また、公共施設での導入を想定しているのか、それとも民間での導入を想定しているのか。
- (2) 実現に向けてのロードマップを示されたい。
- (3) 必要となる予算規模はどの程度か。

8 新市長の公約⑧「行財政改革」について

- (1) 財政改革の内容と実現に向けてのロードマップを具体的に示されたい。具体的にいくら削る予定なのか。
- (2) 行政改革の内容と実現に向けてのロードマップを具体的に示されたい。市長としての組織編成権と人事権はどの程度発動するのか。

9 新市長の公約⑨「豊かな自然環境の保全」について

- (1) 具体的な内容は。
- (2) 実現に向けてのロードマップは。
- (3) 必要となる予算規模はどの程度か。

10 新市長の公約⑩「安心して買い物ができる商店街の整備」について

- (1) 具体的な内容は。
- (2) 「道の駅」はつくるのか。
- (3) 実現に向けてのロードマップは。
- (4) 必要となる予算規模はどの程度か。

第5 通告者

13番 細井 公 議員

1 路上設置物等の管理について

- (1) 白岡町と表示されたままの看板について
- (2) カーブミラーの角度ズレ、曇りなど。

(3) 舗装劣化、区画線が見づらくなっている。

以上、3件の対策を伺う。

## 第6通告者

9番 菱 沼 あゆ美 議員

### 1 重層的支援体制整備事業について

- (1) 今年8月に国からの事業実施の意向や事業費の見込みなどのアンケート調査があったが、どうされたか。
- (2) 市の地域共生社会の実現に向けてどのように検討し、今後どうしていくのか。
- (3) 庁内の連携、庁外との連携、人材確保、事業費の予算の確保について、伺う。
- (4) この体制整備にはリーダーシップを発揮した縦割りをなくすことと、誰一人取り残さないというトップの英断が重要と考えるが、いかがか。

### 2 がん対策について

- (1) 定期接種である子宮頸がん予防接種は、国が対象者向けの案内リーフレットの改訂をするなどの動きがあった。  
市としての対応はどうされたか。
- (2) 今後は、どのように情報提供をしていくのか。
- (3) コロナ禍では、がん検診など控える傾向と思うが、受診の傾向や課題は。更なるがん検診の啓発などの工夫も、必要ではないか。
- (4) がん教育の取組の状況と効果などについて、伺う。
- (5) 今後のがん教育について、どのように取り組むのか。

### 3 「書かない窓口」で充実させる市民サービスについて

来庁者が住民票や印鑑証明書、税証明などの申請書を記入することなく申請できる、「書かない窓口」を始めた自治体がある。ICT活用による市民サービスの向上と業務の効率化を図れるが、取り組んではどうか。

### 4 市民の声を聴く行政へ

市民の声を聴くことは、重要である。特に、大山地域と菁莪地域では、市役所との様々な距離を生じている。市長が出向いて、住民の声

を直接聴く機会を定期的に創り、課題や要望などを把握してはどうか。  
地域活性化に違った角度で取り組めるのではないか。

第7通告者

6番 関口昌男 議員

- 1 難聴者のための補聴器助成制度の実現を
  - (1) 超高齢社会の到来と難聴者の問題について
  - (2) 難聴者の医療費控除制度は。
  - (3) 「高齢者の聞こえの支援を考える」国などの動きについて
  - (4) 各自治体での対応は。
  - (5) 市長の見解を伺う。
- 2 「国立病院機構東埼玉病院」の廃止をやめさせるための市の対応について
  - (1) 公立・公的医療機関の再検討の内容は。
  - (2) 東埼玉病院についての市民や市当局の受け止め。
  - (3) この問題についてどの組織でどのように検討されているのか。
  - (4) 埼玉県立蓮田特別支援学校と東埼玉病院の関係は。
  - (5) この問題について市としての取組について
- 3 白岡市のシンボルとしての市の鳥の制定を
  - (1) 白岡市のシンボルとしての市の鳥の制定を。
  - (2) 白岡での野鳥の観察の実態と市当局の認識について
  - (3) 市長の考えを伺う。

第8通告者

8番 中山廣子 議員

- 1 公共交通について
  - (1) のりあい交通の現状について伺う。
    - ア 現在の年代別登録者数と割合
    - イ 一台の車に乗車する人数の平均と年代別の利用者数と割合
    - ウ 乗り合いで乗車する件数と割合
  - (2) 平成30年度に実施した「菁莪地域買物支えあい実証実験事業」の事業後アンケート調査結果を踏まえ、のりあい交通の中で、この事業を捉えていくとのことだが、現段階ではどのような施策を考えているのか。

(3) 「白岡市地域公共交通会議及び白岡市地域公共交通確保維持改善協議会」の協議内容や協議結果など、市民に広く周知をしていくことが必要ではないか。

2 母子健康情報サービスについて

スマートフォンを使った「母子健康手帳アプリ」を導入してはどうか。

3 男性の育児休業について

(1) 本市の男性職員の育児休業の取得状況を伺う。

ア 職員数と対象者数

イ 過去に一度でも取得したことのある人数と取得平均日数

ウ 取得しない（できない）人の理由は把握しているか。

(2) 目標を達成するために、どのように周知・啓発しているか。

(3) 今後、推進していくうえで、課題は何か。どのように推進していくと考えているか伺う。

第9 通告者

10番 渡辺 聡一郎 議員

1 実行性・戦略性の高い総合振興計画が必要ではないか

(1) 第6次総合振興計画の策定手法と公表に至るプロセスを伺う。

(2) 多元・多層の市民参加が必要ではないか。若い世代等が参加する場の創出について伺う。

(3) 計画の進行管理・目標値設定・評価の方法について伺う。

(4) 財政フレームや毎年度予算とどのように連動させるのか。

(5) 第6次総合振興計画に対する抱負を市長に伺う。これからの総合振興計画はどうあるべきか。重視するテーマ・ポイント、また具体的な重要政策は。

2 行政手続のデジタル化・オンライン化・簡素化を

(1) 書面・押印・対面を求める行政手続の中で、市独自で見直し可能なものはどれくらいあるか。

(2) 不要な押印の廃止、申請や添付書類の簡素化を進めるべきではないか。また各種申請やライフイベントに係る手続のオンライン化を進めていくべきと考えるが、市の方針を伺う。

- (3) 窓口業務等でのキャッシュレス決済の導入について課題と方針を伺う。

第10 通告者

5 番 山 崎 巨 裕 議員

1 地域公共交通について

- (1) 平成18年度の「町内循環バス」と令和元年度の「のりあい交通」の利用総数はそれぞれ何人か。
- (2) 現行の「のりあい交通」と「循環バス」の併用を検討してはどうかか。
- (3) 検討に当たっては市民の声が届く工夫が必要と思うが、いかがか。

2 少人数学級について

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として市内小・中学校ではどのような感染防止対策が実施されているのか。
- (2) 市内小・中学校ではソーシャルディスタンスは保たれているのか。
- (3) 国に少人数学級に舵をきるよう声をあげていただきたいが、いかがか。

第11 通告者

3 番 野々口 眞由美 議員

1 中学校の自転車通学について

- (1) 中学生の自転車通学を求める声が多くある。部活動、職業体験では、初めて行く場所にもかかわらず、自転車利用が可能になっている。毎日、利用する慣れた通学路において、なぜ許可をしないのか。

2 教育支援センターについて

- (1) 教育支援センターの設置目的は。
- (2) 職員定数と現在配置されている正職員、会計年度任用職員の職種ごとの構成は。
- (3) 災害など、誰が危機管理者としての責任をもっているのか。職員の業務状況、勤務態度について誰が監督しているのか。
- (4) 今後の運営・活用方針について

第12 通告者

1 番 石 渡 征 浩 議員

1 第6次総合振興計画について

白岡市では、現在、令和4年度から令和13年度までの10年間を



計画期間とする「第6次総合振興計画」の策定を進めている。

- (1) 計画の策定に当たっては、白岡市の持つ特徴、つまり、「強み」と「弱み」を分析したうえで、基本的な考え方を打ち出し、将来の街のカタチ（ランドデザイン）を明確に描く必要がある。また、重きを置く分野についても明確にする必要があると考える。

このことについて、市の見解を伺う。

- (2) 将来の街のカタチについて、市長の見解を伺う。

## 2 白岡中学校周辺区域における商業施設の誘致について振り返る

- (1) 県道春日部菖蒲線の北側の商業施設誘致ゾーンの面積は、19.5ヘクタールと野球ができる中学校のグラウンドの約20倍、敷地面積が14.3ヘクタールのモラージュ菖蒲の1.36倍と広大である。なぜ、当初19.5ヘクタールで計画したのか。その根拠と意思決定した経緯について伺う。

- (2) 昨年度に実施した商業需要調査において、出店を検討する旨の回答があった企業について、食品スーパー、ホームセンター、ドラッグストアなど単独出店を希望する企業は、業態別にそれぞれ何社か。

加えて、ショッピングセンターを手掛けているディベロッパーの業界別社数とショッピングセンターの規模は。

また、そのうち、新型コロナウイルスの影響で開発の検討は難しいと回答した企業は何社か。

- (3) 実現に向けて、何らかの目算があって進めてきた事業なのか。それとも、実際に蓋を開けてみなければ分からない中で進めてきた事業なのか。

- (4) 計画は、実施段階の初期が肝心である。市民ニーズを踏まえつつ、一方で実現可能性も考慮しながら、落としどころを探り、最終的な絵姿のイメージを持って進めるべきであった。

開発業務の進め方の手順について、市の見解を伺う。

第13通告者

16番 黒須 大一郎 議員

### 1 地元商工業の応援策は万全か

- (1) 白岡応援商品券販売事業について、本事業の目的とその波及効果

はどのように予測しているのか。

(2) 新コロナ禍の中、営業自粛要請により疲弊した地元の事業者を応援する本事業に、その取扱事業者にその他として記載されているコープみらい久喜センターの経緯と理由は。

(3) 新コロナ禍及び経営に関する応援窓口設置等の独自応援策を。

ア 各種助成金、補助金等の相談とお手伝いを。

イ 新生活様式に合せた経営等のIT（デジタル）化の相談とお手伝い。

ウ 市独自の地元応援策を講じるべき。

2 葬儀場の建設中止を市の権限で可能なのか

(1) 市長は、公約及び決意として訴訟覚悟で葬儀場建設中止を表明なされたが、市長権限でそれは可能なのか。

(2) 白岡市全体の街づくりの観点を中止させる理由の一つに挙げている。市長の考える街づくり観点は、どういうものか。

(3) 建設中止により相手方から損害賠償訴訟や補償請求訴訟が出た場合、どう考え、対応するのか。

(4) 建設が始まり、市への住民監査請求や住民訴訟の対応は。

3 白岡中学校周辺区域土地利用推進事業の見直しと篠津北東部の民間による農村創生プロジェクトとは

(1) 白岡中学校周辺区域土地利用推進事業の見直しとは対象地域全てに対して、市街化を含む見直しなのか、どのように考えているのか。

(2) 白岡中学校周辺区域土地利用推進事業のパートナー企業は継続するのか。さらには、減額返還や追加費用は発生するのか。

(3) 見直しで隣接する篠津北東部（計画的開発検討区域）に影響は。

(4) 篠津北東部の民間による農村創生プロジェクトの事業者は、そのプロジェクトの行程表（案）を示している。その中で、土地改良事業の認可、農用地区除外、開発行為の許可等、公が関わるものも多い。市は、どのようなスタンスで本プロジェクトと関わっていくのか。

(5) 篠津北東部の民間による農村創生プロジェクトが、円滑に進捗す

るよう、「農地保有の合理化等のために農地等を譲渡した場合の800万円控除の特例」を受けられるように本事業者と市は連携していくべきだが、いかがか。

※措法第34条の3①、措令22の9

- (6) 白岡中学校周辺区域土地利用推進事業の見直しも篠津北東部の民間による農村創生プロジェクトも、今後策定する第6次総合振興計画に深く関わることを考える。新総合振興計画策定のプロセスはどのようにするのか。

第14通告者

14番 大島 勉 議員

1 無料公衆無線LANの整備について

- (1) 当市での公共施設等への無料公衆無線LAN（無料WiFi）の整備状況は。
- (2) コロナ禍の中、整備することが新しい生活様式の一部として必要と考えるが、市の考えは。
- (3) 民間事業者等と協力し、市内に無料公衆無線LAN（無料WiFi）を整備し、市民や当市を訪れる方により良いサービスを提供してはどうか。